

## 地域の先生のご紹介



**鈴木内科医院**  
**鈴木 琢真 先生**  
 住 所：西脇市野村町茜が丘1-1  
 T E L：0795-24-0456  
 診 療 科 目：内科・消化器内科・糖尿病内科

診 療 時 間	月	火	水	木	金	土	日祝
午前 9:00~12:00	◎	●	●	●	●	●	×
午後 1:30~3:00	★	★	★	★	★	×	×
午後 4:00~7:00	●	●	●	×	●	×	×

- 通常診療
- ◎ 2人体制診療（不定期）
- ★ 内視鏡検査等（要問い合わせ）



### ① 開業されてどれくらいになりますか。

平成 29 年 11 月に開院しました。まだ開院して約 2 年半程度です。

### ② 来院されるのは、どのような患者様ですか。

高齢化が進む西脇市ですが、茜が丘という新興住宅地にあるので、学生さんから働き盛りの方々といった比較的若い患者様が多い印象です。

### ③ 診療にあたり心掛けていることは何ですか。

患者様の訴えをなるべくよく聴くようにし、病態や検査結果などについては分かりやすく丁寧に説明をするようにしています。個々の患者様に適した治療を提供できるよう、患者様と一緒に考えてるようにしています。

### ④ 地域との連携について

当院では上下部消化管内視鏡検査、CT 検査が可能ですので、可能な限り当院で診断をつけ、病院での医療が必要な患者様を御紹介させて頂くようにしておりますが、何分力不足な点もあり、診断や治療に苦慮する症例も多数あります。西脇病院の先生方のお力をお借りしながら、これからも地域医療に貢献したいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

地域医療連携室だより  
2020年7月発行

〒677-0043 兵庫県西脇市下戸田652番地の1  
TEL：0795-22-0111(代表)

地域医療連携室 直通  
TEL：0795-22-8270  
FAX：0795-23-4580

西脇市立西脇病院 Nishiwaki Municipal hospital



# 地域医療連携室だより

HP : <http://www.nshp.jp/>

## 室長就任のごあいさつ

内科 主任部長 来住 稔

2020年4月より地域医療連携室長を拝命いたしました内科の来住稔と申します。

当院は北播磨地域北部の基幹病院として高度急性期・専門医療の提供を主たる責務としてスタッフは日々切磋琢磨しております。当院が急性期医療を継続して提供させて頂けるのは、地域の先生方の平日頃からの患者様のご紹介や慢性期の御加療のおかげであり大変感謝申し上げます。

私の専門とする老年医学において、例えば高血圧、肺疾患、がんなど一人の患者に複数の健康状態が複雑に影響することを意味する Multimorbidity という概念があります。当院内科は各々専門性を持っていますが独立せず常に一体として単一の内科のまとまりを心がけており、Multimorbidity を持つ患者様に対して総合的に管理することを得意としております。もちろん今まで通り地域の基幹病院としての高度急性期医療を提供しながらも、今後は Multimorbidity を持つ高齢者に強い急性期病院としての医療も地域の皆様に提供できればと思っております。

私は当院で生まれこの地で育ちました。幼少時には地域の医療機関の諸先輩方には患者として、また患者の家族としてお世話になったこともあります。10年前に当院に帰り一介の医師として頑張っまいりました。まだまだ経験も浅い若輩者で至らぬ点もたくさんあるかと思いますが、これからは病院と近隣の先生方をつなぐ窓口として生まれ育ったこの地域全体の医療に貢献できるように頑張りたいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。



## 私たちがご相談をお受けします！



医師、看護師、社会福祉士  
事務員が必要に応じて対応  
いたします。  
気軽にご相談ください。

## 患者相談窓口のご案内 ご存じですか？ 患者相談窓口

診療や看護に関する相談をはじめ、退院後の療養に対する心配事の相談や、適切な医療機関や施設の紹介、介護保険の申請方法などの制度利用に係ることから、医療に伴う経済的な問題などの相談も受けています。また、発熱トリアージ外来の受付け（問診）対応も行っています。（お問い合わせ先：地域医療連携室）〔時間：平日9時から17時〕

- \* 当院への受診の有無を問わず対応しています。
- \* 気軽にご相談ください。



# 最新の脳卒中治療

脳神経外科 主任部長・副院長 片山 重則



脳疾患のうちでは脳梗塞の占める割合が多く、梗塞をいかに治療するかということが、患者様全体の転帰向上につながります。脳梗塞には、ラクナ梗塞・アテローム血栓性脳梗塞・心原性脳塞栓症などがあります。ラクナ梗塞を除く、アテローム血栓性脳梗塞と心原性脳梗塞は、血管内治療の早期介入により良好な転帰につなげることが可能です。アテローム血栓性脳梗塞に対しては経皮的脳血管形成術や頸動脈ステント留置術により、心原性脳塞栓症に対しては経皮的血栓回収術により早期の血流再開が期待できます。医師とコメディカルの良好な連携により、来院後の早期診断・早期治療が可能です。西脇病院では、従来より急性期脳梗塞治療に取り組み、良好な成績を上げています。また西脇病院は一次脳卒中センター(PSC)に認定されており、tPAの静注療法も行うことが可能です。脳卒中が疑われる患者様がいらっしゃいましたら、すぐにご連絡ください。脳卒中は時間との戦いです。西脇病院脳神経外科で責任をもって治療をさせていただきます。

一方、未破裂脳動脈瘤や頸動脈狭窄症など、急を要しない脳血管障害などに対しましては、火曜日午前中の脳血管内治療外来にご紹介ください。脳動脈瘤に対して、これまで開頭による動脈瘤ネッククリッピング術が多く行われていましたが、現在では90%以上の症例でカテーテルによる脳動脈瘤塞栓術を行っています。動脈瘤塞栓術は低侵襲で患者さんへの負担も少なく、良好な治療成績が得られています。

該当患者様がいらっしゃいましたら地域連携室経由でご紹介いただきましたら幸いです。緊急患者様に対しましては、お電話いただきましたら対応させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

	月	火	水	木	金
脳神経外科	片山 重則	澤 秀樹	井口 基	内橋 義人 塩見 亮司	森 達也
脳血管内治療外来		片山 重則			

※脳血管内治療外来について

火曜日の午前中のみです。ご紹介いただく場合は、地域医療連携室へご連絡ください。

# 西脇病院 小児科 の診療について

小児科 部長 佐伯 啓介



近隣の医療関係者の皆様には常々大変お世話になりありがとうございます。当院小児科は北播磨地区では、昭和の時代から小児医療、新生児医療の拠点として機能してきた歴史があります。一時期は存続の危機も経験したことで、市民や開業医の先生方ともお互いを尊重しあう土壌が醸成し、持続可能な範囲で模索しながら日々の診療を行っています。マンパワー不足などから、ご期待に沿えない部分もあり苦慮していますが、今後も地域のこどもたちの健康を支える使命を全うしたいと考えています。

当科では一般小児疾患全般に対応していますが、必要に応じて神戸大学や県立こども病院、加古川中央市民病院等と連携し、適切な診療を提供できるように心がけています。その中でも特に力を入れていることとして、てんかん、発達遅滞等の神経疾患を疑う児の検査や治療、食物アレルギーに対する経口負荷試験、低身長や高度肥満などを有する児への検査や介入などがあります。また、近年周辺の産科施設の縮小に伴い、ハイリスク分娩や里帰り分娩への対応の需要が増大しています。当院では北播磨圏域で随一の産科・小児科連携体制を自負しており、合併症を有する妊娠などについて可能な限り対応しています。お困りのことがあればご相談いただければ幸いです。尚、ご紹介いただく場合、現況のコロナウィルス感染対策の観点から、事前に地域医療連携室で予約を取っていただくか直接小児科外来にご連絡いただくことをお願いしています。その際、患児の健康状態を直接確認させていただくため、保護者の連絡先をご明記いただきたく存じます。大変お手数をおかけいたしますが何卒よろしくお願いいたします。



	月	火	水	木	金
午前	松本 尚子	佐伯 啓介	洪 聖媛 (神戸大学)	松本 尚子 [第1・3・5]	佐伯 啓介
				一般・腎臓 (飯島 一誠) (神戸大学) [第2・4]	循環器 (許 永龍) [第2・4] ※予約患者様のみ 午前11:00~
午後	発達・神経 (佐伯 啓介)		予防接種 (担当医)	乳児健診 (担当医)	アレルギー 低身長 (松本 尚子)
					循環器 (許 永龍) [第2・4]